# かきつばた

No.1968
2018・12・30
日本共産党
知立市議団
知立市牛田町
牛田境26－5
TEL/FAX83-2900



**新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりありがとうございました。本年もよろしくお願いします**

## 男女共同参画プラン
# 2019年度～2028年度までの計画採択
# あらゆる人が活躍できる社会実現へ



## 女性活躍・DV防止・LGBTなど新たな課題への取り組みを位置づけ

知立市議会は12月21日に「知立市第３次男女共同参画プラン」を全員一致で採択をしました。プランでは、男女が対等な立場で、社会のあらゆる分野に参加をめざし、新たに女性活躍推進計画やＤＶ防止計画が位置づけられ、また、性的マイノリティ（ＬＧＢＴ等）の理解促進も明記。日本共産党の佐藤議員が委員会で質疑、牛野議員が本会議で賛成討論をそれぞれしました。

## ５つの基本目標を定め男女共同参画の実現へ

知立市男女共同参画プランは、１９９３年３月に第１次が策定され、今回で第３次です。期間は19年度～28年度の10年間。新プランでは、多様な考え方や価値観を受けとめ、性別にかかわらず、あらゆる人が個性や能力を生かして活躍できる社会の実現を目指しています。

基本目標は５つ。①男女共同参画意識の醸成、②あらゆる分野における男女共同参画の推進（女性活躍推進計画）、③働き方改革と男女共同参画を推進する環境の整備、④健康で安心して暮らせる環境の整備、⑤男女間のあらゆる暴力の根絶（ＤＶ防止基本計画）。

## 学校を含めたDV防止・意識啓発の取り組みを

ＤＶ（配偶者や恋人からの暴力）については、ＤＶ防止法に基づく計画と位置付けられ、特に若年者に対しての意識を高めることを強調。市が全中学２年生に行った調査では約７割の生徒がＤＶを聞いたことがあると答えた一方、身体的暴力以外にも言葉や性暴力も含まれることを知っている割合は５割でした。さらに、恋人間のＤＶであるデートＤＶについては８割を超す生徒が知らないと回答。ＤＶは心身的に大きな傷を与える深刻な人権侵害で犯罪にもつながる可能性があり、暴力への正しい認識を持つことは重大ないじめの防止になります。プランの担当は協働推進課のみですが、日本共産党は、「子どもたちが正しい認識をもって成長するために学校との連携は不可欠」と提案しました。

## 性的マイノリティへの理解促進を初めて明記

今回のプランには、体の性別と心の性に違和感を感じているなどのＬＧＢＴ（レズビアン、ゲイ、バイシェクシャル・トランスジェンダーの略）等性的マイノリティへの理解促進について初めて明記。人口の７～８％にＬＧＢＴの人がいるといわれ特別な存在ではありません。「男らしく・女らしく」というこれまでの性別の捉え方から、多様な考え方があるという認識の変化、職場や学校等での配慮・正しい理解の促進が求められます。そして、誰もが性別にかかわらず、自らの希望する性（性的指向）で生活しやすい社会を作ることが重要です。



## 高齢者施設の建設工事で生活道路がデコボコ状態



## 住民から「早くなおして」の声

山屋敷町霞山地内に11月、介護付き有料老人ホームがオープン。介護施設は歓迎すべきですが、近隣住民から「工事車両の出入りで生活道路がデコボコ。早く直して欲しい」との訴えが日本共産党に寄せられました。12月初旬に市の土木課に直すよう要請。市は「業者に要請している」と回答。その後、業者は「年内にやると言っているが、復旧の範囲等を協議中」、「業者が年内にやれない場合は市が簡易な補修をやり、年明けに業者がやる」とのことです。施設竣工後、２ヶ月以上の経過のなか、誠意ある対応とはいえません。市は的確な指導をし、速やかな復旧で住民の期待に応えるべきです。

